



## 教祖140年祭

If you do not follow the path of the Divine Model, there is no need for a Divine Model... There is no path but the path of the Divine Model.

Osashizu, November 7, 1889

ひながたの道を通らねばひながた要らん。(略) ひながたの道より道が無いで。  
(おさしづ 明治22年11月7日)

# 心の三つを 話の理で伸ばす

教祖おやさまは一枚の紙も粗末になさらず、丁寧ていねいに皺しわを伸ばして、大切にお使いになりました。お話に、

「皺だらけになった紙を、そのまま置けば、落おちとし紙か鼻紙にするより仕様ないで。これを丁寧ていねいに皺しわを伸ばして置いたなら、何んなりとも使われる。落おちとし紙や鼻紙になったら、もう一度引き上げることは出来ぬやろ。

人のたすけもこの理やで。心の皺しわを、話の理で伸ばしてやるのやで。心も、皺しわだらけになったら、落おちとし紙のようなものやろ。そこを、落おちとさずに救けるが、この道の理やで。」

(稿本天理教祖伝逸話篇四五「心の皺しわを」より)とお聞かせ下さいました。

自分の心の内を素直に見ると、びっくりするくらい皺しわだらけになっていませんか。

また周囲の人をながめると、心が皺しわだらけな人を忌避きひして放はなつておいたりしていませんか。心の埃ほこりも、初めは吹けば飛ぶような些細ささいなものでも、積もり重なるシミや汚れになり、ついには親神様のご守護を見失みしってしまいます。

同じように心が皺しわだらけになった人も、落おちとし紙や鼻紙のようになる前に声をかけ、教祖おしえの教おしえにある優しいお言葉で、ゆっくり皺しわを伸ばしてみましょう。それが親神様のお望み下さる陽気ぐらしにつながっていくと思います。

なに、とてもせかいの心いさむなら  
神の心もみないさむなり (第四号20)

本島大教会布教部(為)

※落おちとし紙：便所で使う紙。ちり紙。